

# 山口県花き振興計画

令和8年3月

山 口 県

## 山口県花き振興計画 目次

第1	計画策定の趣旨	1
第2	本県花きの現状	1
1	生産	1
2	流通・消費	1
第3	花き振興の基本方向	2
1	計画の目標	2
2	主要振興方策	2
(1)	県産花きの需要の拡大	2
(2)	産地を牽引する担い手の確保・育成	2
(3)	生産体制の強化	2
第4	具体的な振興方策	3
1	県産花きの需要の拡大	3
(1)	PR対策の充実強化	3
(2)	地産・地消の取組強化	3
(3)	大都市圏等への販路拡大	3
2	産地を牽引する担い手の確保・育成	3
(1)	新規就業者（自営就農者）の育成	3
(2)	法人経営体の育成	4
(3)	新規就業者（法人就業者）の確保・定着	4
3	生産体制の強化	4
(1)	花きの高品質・低コスト生産体制の確立	4
(2)	県オリジナル品種の育成と産地化	4
(3)	環境に配慮した花づくり	5
<b>【参考資料】</b>		
I	山口県花き振興計画目標数値	6
II	花きの振興に関する法律の概要	7
III	花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針の概要	8
IV	花きの生産・流通の現状	9

## 第1 計画策定の趣旨

花きは、美しさや鮮やかさだけでなく、香りや癒しなど、生活に潤いと安らぎを与え、県民の心豊かな生活の実現に大きな役割を果たしていることから、今後の花き振興については、国、市町、関係団体等と一層緊密に連携を図りながら、花き産地の育成や、地産・地消を核とした新たな需要の創出に向け積極的に取り組むものとする。

なお、本計画は、「花きの振興に関する法律」に基づき、国が策定した「花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針」に即して、令和5年度を基準年度、令和12年度を目標年度とする。

## 第2 本県花きの現状

### 1 生産

生産者の高齢化による担い手の減少、輸入花きの増加による販売単の低迷、燃油等資材高騰により、花き生産は厳しい状況にある。

そのため本県では、花き振興を図るためのリーディング品目として、県オリジナルのユリ（プチシリーズ）、リンドウ（西京シリーズ）を開発し、山口県花卉園芸農業協同組合等と連携して産地化を推進するとともに、品質に優れ全国に誇れる商品として、県内外での有利販売の実現を目指している。

### 2 流通・消費

コロナ禍による冠婚葬祭等の簡素化により業務需要は縮小し、現在もその状況は変わっておらず、インターネット販売等、流通形態の多様化により、県内花き市場の取扱高は近年漸減傾向にある。また、花き市場においても相対取引の割合が増加する等、生産者にとって継続出荷や産地情報の提供の必要性が高くなっている。

一方、花きの消費量は、本県において近年増加傾向となり、県庁所在地（山口市）1世帯当たりの年間切り花購入額は、全国平均に比べ高い水準にあり、日常生活での花きの普及が拡がりつつある。

この様な状況を踏まえ、本県では生産・流通・消費の各界の関係者が連携し、本県花き振興を推進する山口県花卉園芸推進協議会が、花きの産地づくりと県産花きの商品力の強化に取り組んでいる。また、令和7年4月にオープンした山口きらら博記念公園フラワーガーデンは、県民への花き消費拡大を促す契機となっている。

### 第3 花き振興の基本方向

#### 1 計画の目標

##### ○品質に優れた「やまぐちの花き」の生産と需要の拡大

項目	実績(R5)	目標(R12)
花き産出額	30億円 ※直近5年平均	35億円
世帯当たり切り花の購入額	8,290円/年	10,000円/年

##### ○県オリジナル品目の育成と産地拡大

項目	実績(R5)	目標(R12)
ユリ(プチシリーズ)	8万本	100万本
リンドウ(西京シリーズ)	26万本	100万本

#### 2 主要振興方策

##### (1) 県産花きの需要の拡大

生産・流通・消費・文化の関係者と連携し、地産・地消の取組を推進するとともに、県内外での情報発信や商品力の強化に努める等、品質に優れた県産花きの販路拡大を図る。

また、中長期的視点に立って、引き続き花育活動等の取組を推進する。

##### (2) 産地を牽引する担い手の確保・育成

先進的な農業経営者等と連携し、新規就業者の確保・育成を図る。また、農業参入企業や集落営農法人等を新たな担い手として位置づけ、露地等での花きの取組を推進する。

##### (3) 生産体制の強化

オリジナル性豊かな新品種の開発及び産地化を推進するとともに、高品質・安定生産に向けた技術開発や環境に配慮した生産に取り組む。

## 第4 具体的な振興方策

### 1 県産花きの需要の拡大

#### (1) PR対策の充実強化

山口きらら博記念公園フラワーガーデンとやまぐちフラワーランドとの連携による情報発信により相乗効果を発揮しながら消費拡大を推進していくとともに、県民参加型体験イベント等において花のある生活の提案や花に関する情報発信や催事等での県産花きの活用、公共施設等での生け花展示の取組の普及拡大を図る。

また、国内外でのフェアや品評会への参加等を通じて、品質に優れた県産花きの積極的な情報発信を行う。

#### (2) 地産・地消の取組強化

産地と県内花き市場との連携強化による県産花きの供給力の向上や、旬の花を中心とした県産花きのキャンペーンの展開、また、産地表示の推進や家庭における日持ち向上の知識の紹介等、「やまぐちの農林水産物需要拡大協議会」と一体となり、販売協力専門店等を核として地産・地消の取組を積極的に推進する。

さらに、消費者、文化団体と連携した県産花きの理解促進や、学校教育と連携した花育活動の推進等、県産花きの需要拡大につながる様々な取組を推進する。

#### (3) 大都市圏等への販路拡大

国内外の品評会等への出品や県オリジナル品種等の展示を通じて、質の高い県産花きの知名度を高める。

また、大都市圏の市場等と連携を強化し、販路の開拓及び拡大を図るとともに、ECサイトの活用や大手生花店と連携したフラワーツーリズムの実施など、新たな需要拡大に向けた多様な取組を推進する。

### 2 産地を牽引する担い手の確保・育成

#### (1) 新規就業者(自営就農者)の育成

農業大学校や、先進的な農業経営者等での技術研修を充実させるとともに、関係機関・団体とが連携した受け入れ定着体制を強化し、新規就業者の経営の早期安定化を目指す。

また、関係機関との連携強化による産地情報の共有化や、地域・県域生産者組織の研究会活動等の取組を支援することにより、花き生産

意欲の高揚と技術・経営力の向上を図るとともに、将来の花き生産のリーダーとなる担い手を育成する。

## **(2) 法人経営体の育成**

市町、関係団体等と協働し、新規就業者の受け皿として大きな役割を果たす法人経営体の育成を図る。

また、山口県集落営農法人連携協議会等と連携し、集落営農法人等へ新たな高収益作目として、リンドウやコギク等露地栽培が可能で低投資で取組むことができる花きの導入を図るとともに、農外企業の農業参入を促進し、市場と連携した契約取引の推進等により法人経営の収益向上に向けた取組を支援する。

## **(3) 新規就業者(法人就業者)の確保・定着**

新規就業者の募集から技術研修、就業、定着まで一貫した「日本一の担い手支援策」の強化により、県内外からの新規就業者の確保と定着を進める。

# **3 生産体制の強化**

## **(1) 花きの高品質・低コスト生産体制の確立**

花き振興センターにおいて生産・流通の改善に役立つ基礎的な技術開発を推進するとともに、農林事務所との連携のもと、地域の実情に即した技術の普及等を推進し、花き農業の体質強化を図る。

また、施設園芸の省エネルギー設備の導入や燃料価格高騰時のセーフティネットの構築等、燃料価格高騰の影響を受けにくい経営構造への転換を支援する。

さらに、近年問題となっている高温障害対策やスマート農業の導入等、高品質・低コスト生産のための機械・施設等の導入を支援する。

## **(2) 県オリジナル品種の育成と産地化**

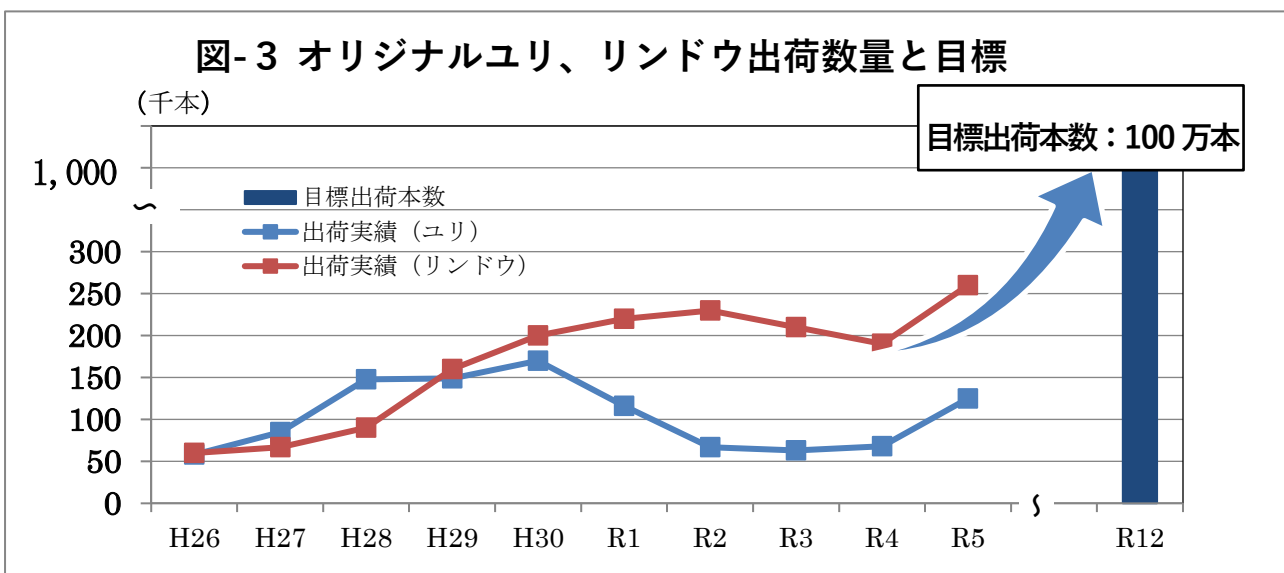
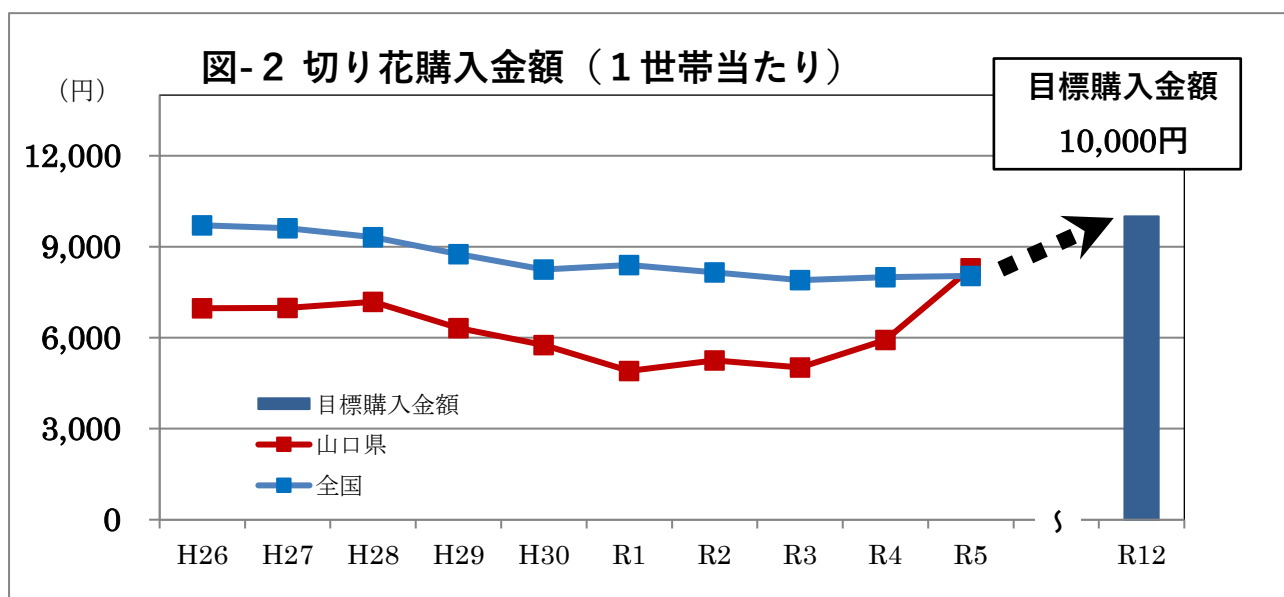
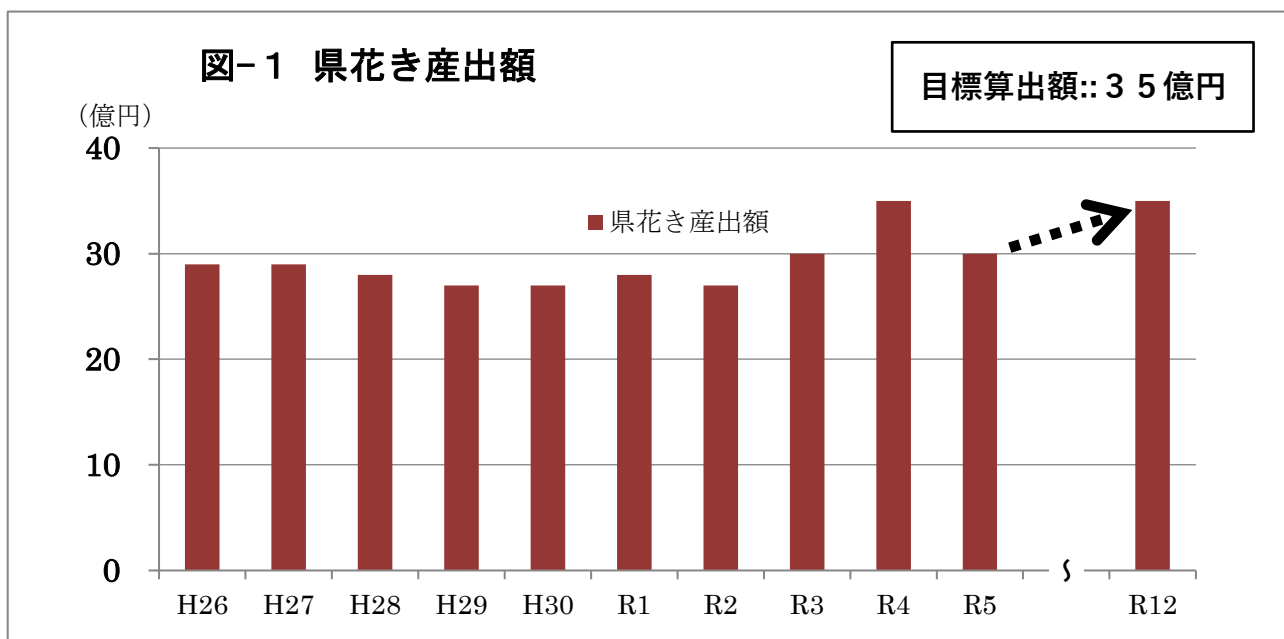
県産花きのブランド化と有利販売を図るため、花き業界から評価の高いユリ、リンドウ等のオリジナル品種の育成、高品質化技術等の研究開発に取り組むとともに、知的財産権の適正な保護に配慮しながら、特にユリについては優良種苗を低価格で安定供給できる体制づくりを促進し、産地化を加速する。

### (3) 環境に配慮した花づくり

環境や安心・安全に対する関心の高まりに対応し、化学肥料や化学農薬の使用低減や温室効果ガスの削減等、環境負荷低減に資する栽培技術の普及を図るとともに、使用済み資材の適正処理やリサイクルの取組を推進する。

【参考資料】

I 山口県花き振興計画目標数値



## Ⅱ 花きの振興に関する法律の概要

### 1. 目的

#### 【花きをめぐる現状】

##### ○花き産業

- ・農地や農業の担い手の確保を図る上で重要
- ・国際競争力の強化が緊要な課題

##### ○花き文化

- ・国民の生活に深く浸透し、国民の心豊かな生活の実現に重要な役割

花き産業及び花き文化の振興を図り、もって花き産業の健全な発展及び心豊かな国民生活の実現に寄与（1条）

### 2. 定義

##### ○「花き」…観賞の用に供される植物（2条1項）

（切り花、鉢もの、花木類、球根類、花壇用苗もの、芝類、地被植物類）

##### ○「花き産業」…花きの生産、流通、販売又は新品種の育成の事業（2条2項）

### 3. 基本方針等

##### ○農林水産大臣は、花き産業及び花き文化の振興に関する基本指針を策定（3条）

##### ○都道府県は、花き産業及び花き文化の振興に関する計画を策定（4条）

##### ○国、地方公共団体、事業者、研究機関等の連携の強化（5条）

### 4. 国及び地方公共団体の施策

#### 【花き産業に対する施策】

##### ○生産者の経営の安定（6条）

##### ○生産性及び品質の向上の促進（7条）

##### ○加工及び流通の高度化（8条）

##### ○鮮度保持の重要性への留意（9条）

##### ○輸出の促進（10条）

##### ○認定研究開発事業計画の成果に係る出願品種の出願料等の減免（13条）

##### ○研究開発の推進（15条）

#### 【花き文化に対する施策】

##### ○公共施設における花きの活用の推進等（16条1項）

##### ○いわゆる「花育」の推進（16条2項）

##### ○日常生活における花きの活用の推進、花きの伝統の継承、新文化の創出等に対する支援等（16条3項）

#### 【その他の施策】

##### ○博覧会の開催等（17条）

##### ○花き産業及び花き文化の振興に寄与した者の顕彰（18条）

##### ○振興計画の施策が円滑に実施されるようにするための国の援助（19条）

##### ○花き活用推進会議の設置（20条）

## 新たな花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針のポイント

### 〈国産花きの強みと課題〉

- ・花きの産出額は長らく漸減傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大後の需要の変化により、増加に転換。
- ・高品質な国産花きは国際的にも高い評価。切り花を中心に輸出拡大に期待。
- ・他方、近年の高温による生産の不安定化、国内生産・消費の縮小が課題。

### 〈施策の方向〉

生産量その他の花き産業の振興の目標（億円）

	R4実績	R12目標
産出額	3,684	4,500
輸出額	91	200
輸入額	594	300

#### 生産

- ・生産基盤の強化
  - ・需要に基づき花きの安定生産・安定供給を図るため、需要期に合わせる生産技術や生産基盤の整備が必要
  - ・深刻化する温暖化の影響を回避・軽減するための技術・品種開発が必要

#### 流通

##### 消費データの還元

- ・需要に基づき花きの生産を図るため、国内外の需要動向を産地にフィードバックする仕組みが必要

#### 輸出

##### 輸出産地の育成

- ・国際的に高い評価を得ている国産花きの輸出を拡大するため、輸出に取り組み産地の育成を進める必要

#### 文化

##### 世界に誇る花き文化

- ・花きの文化の振興は、国民の心豊かな生活の実現に貢献

#### 需要

##### 需要の変化への対応

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大以降の需要の変化に対応する必要

#### 地球温暖化に対応した生産技術の導入

- ・高温障害を回避・軽減する開花調整技術や病害虫対策の導入、高温耐性・日持ち性等の特性を有する新品種開発を推進

#### 生産基盤の整備

- ・生産基盤の維持・強化に資する既存ハウスの流動化や機能強化等を推進
- ・ロボット・データ駆動型農業等のスマート農業技術の開発・導入を推進

#### 花き産業横断的な情報連携

- ・卸売市場や小売業者が有する販売データを基にした需要情報を花き業界関係者が共有し活用する仕組みを構築



共通のプラットフォームでデータを集積・分析

#### 輸出の促進

- ・フラッグシップ輸出産地などの輸出対応産地の育成、産地間のリレー出荷の推進、産地における輸出拠点の整備等を推進

#### 輸出対応産地



#### 輸出拠点



#### 花きの文化の振興

- ・花育や日常生活における花きの活用を推進
- ・若年層が関わる花きの新たな文化の創出を推進

#### 公共施設・まちづくりでの活用

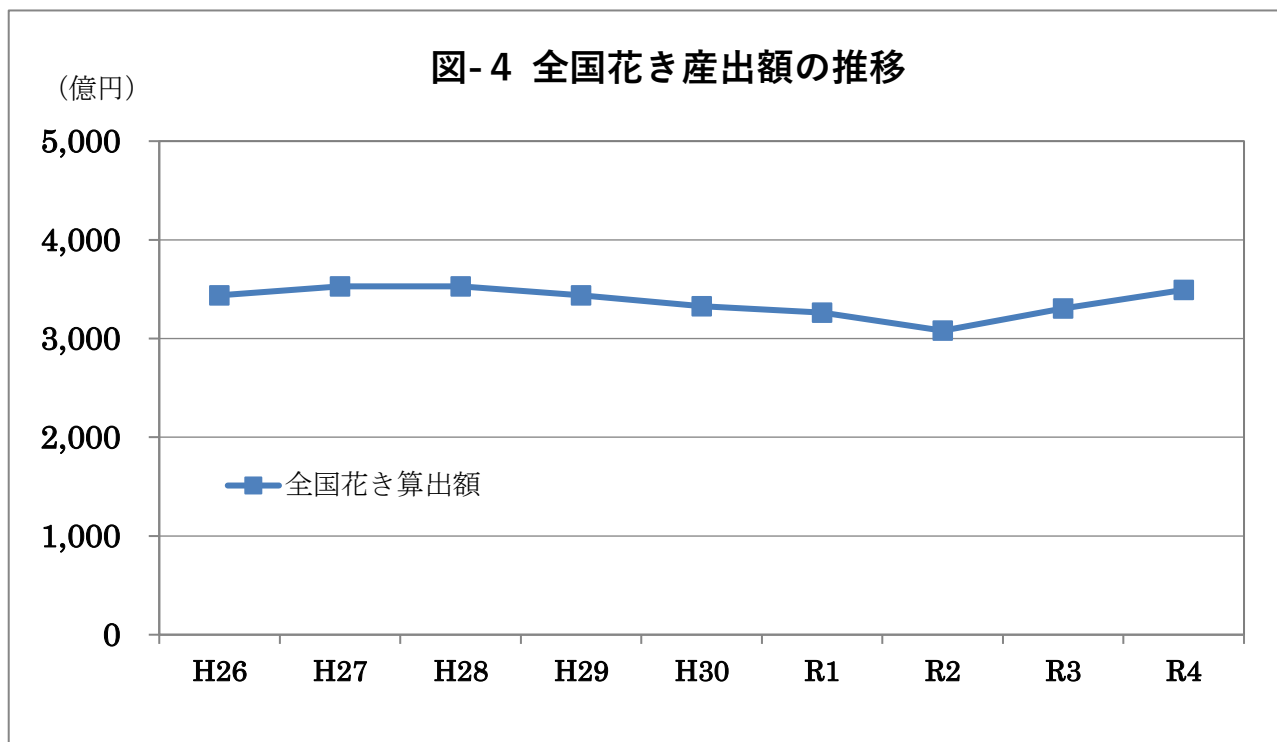


#### 花きの需要の増進

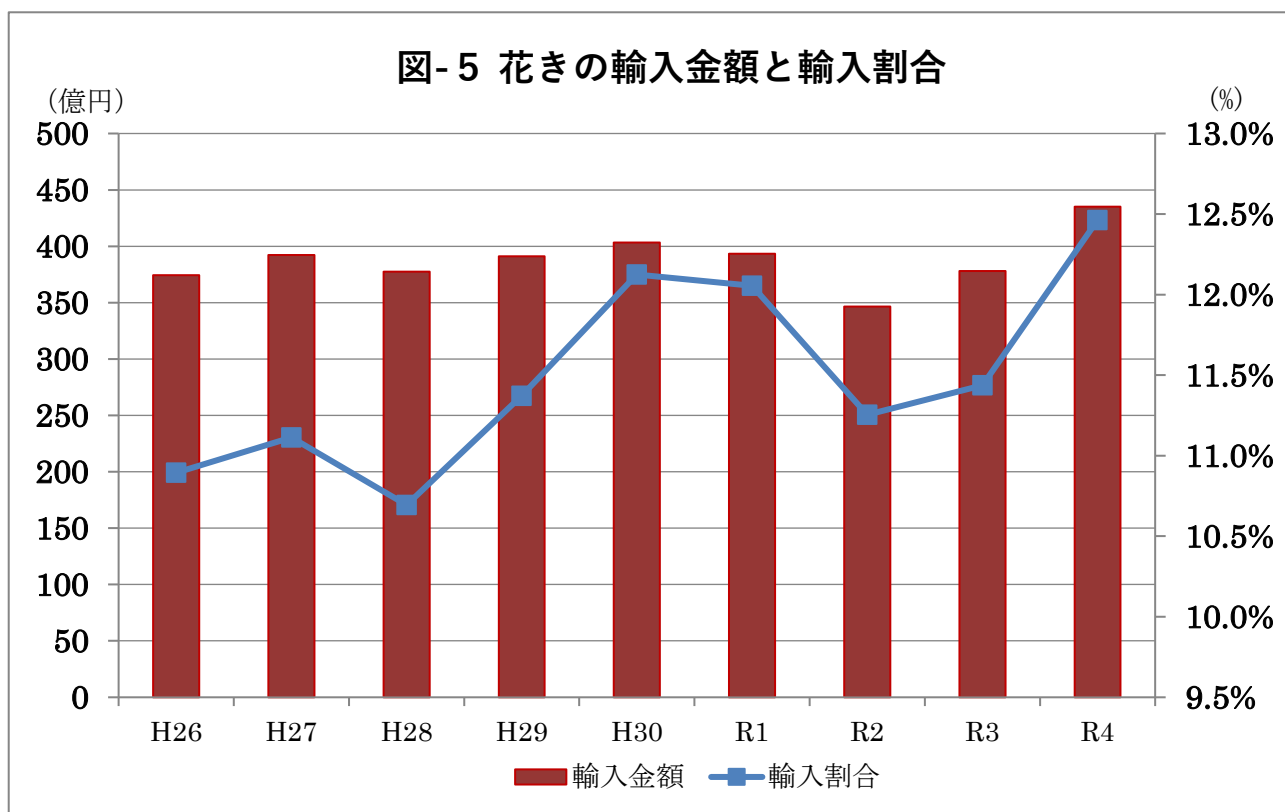
- ・消費者と生産者との交流や国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）を契機とした需要の喚起、環境に配慮した花材・資材の利用等による需要の創出を推進

## IV 花きの生産・流通の現状

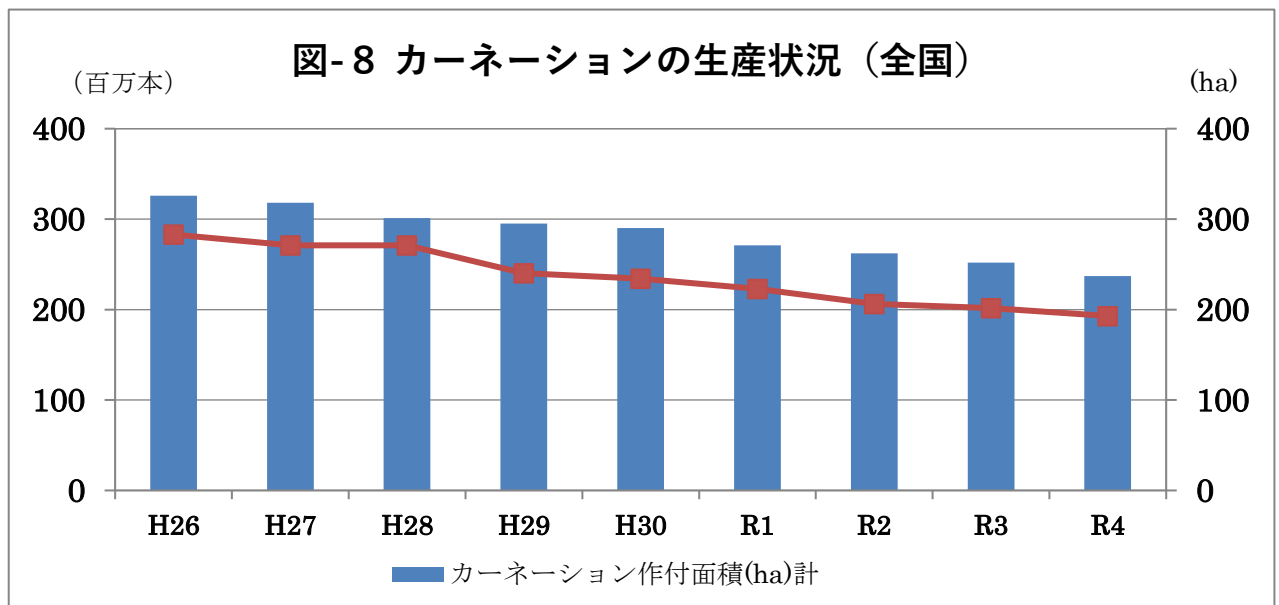
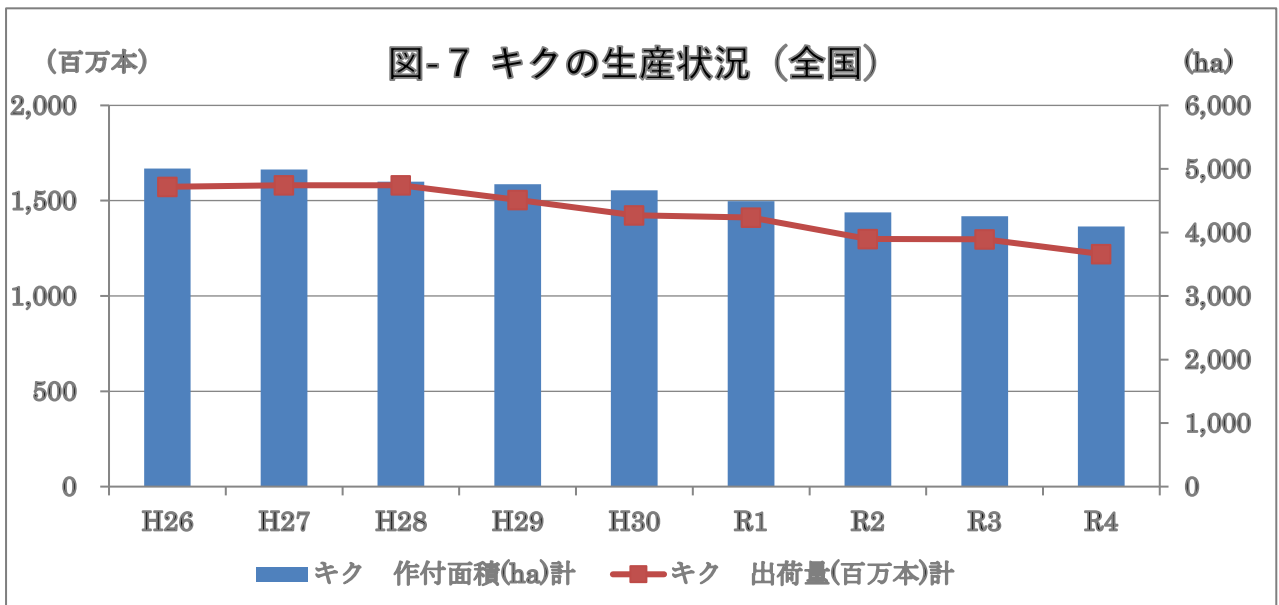
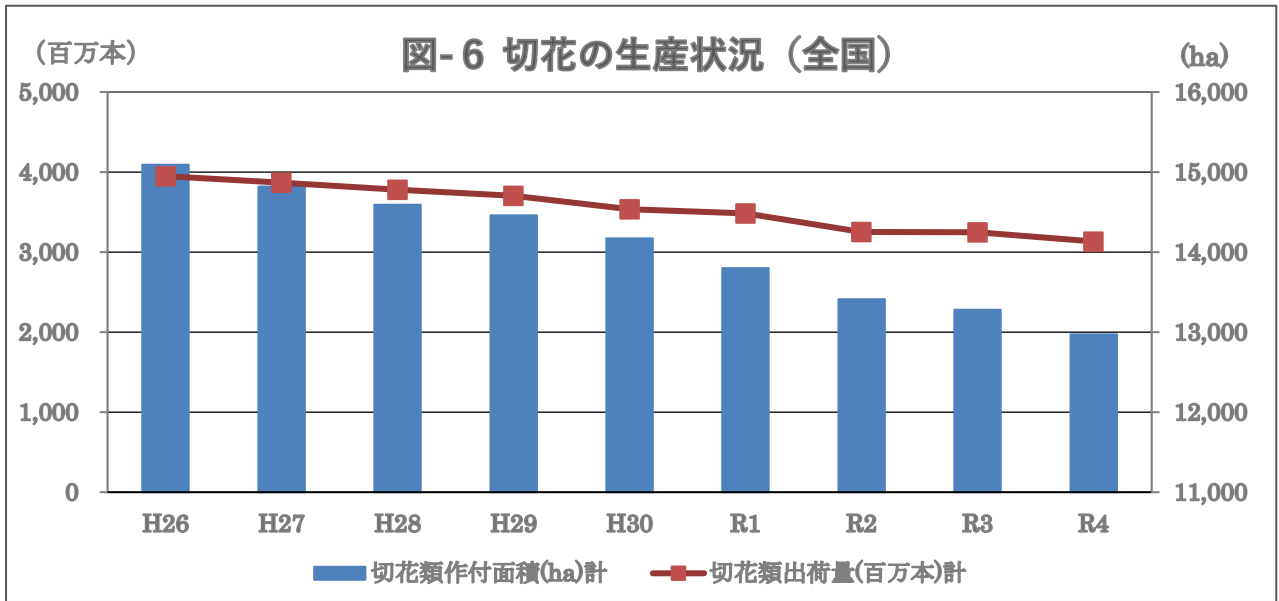
### 1 国産花きの産出額の推移

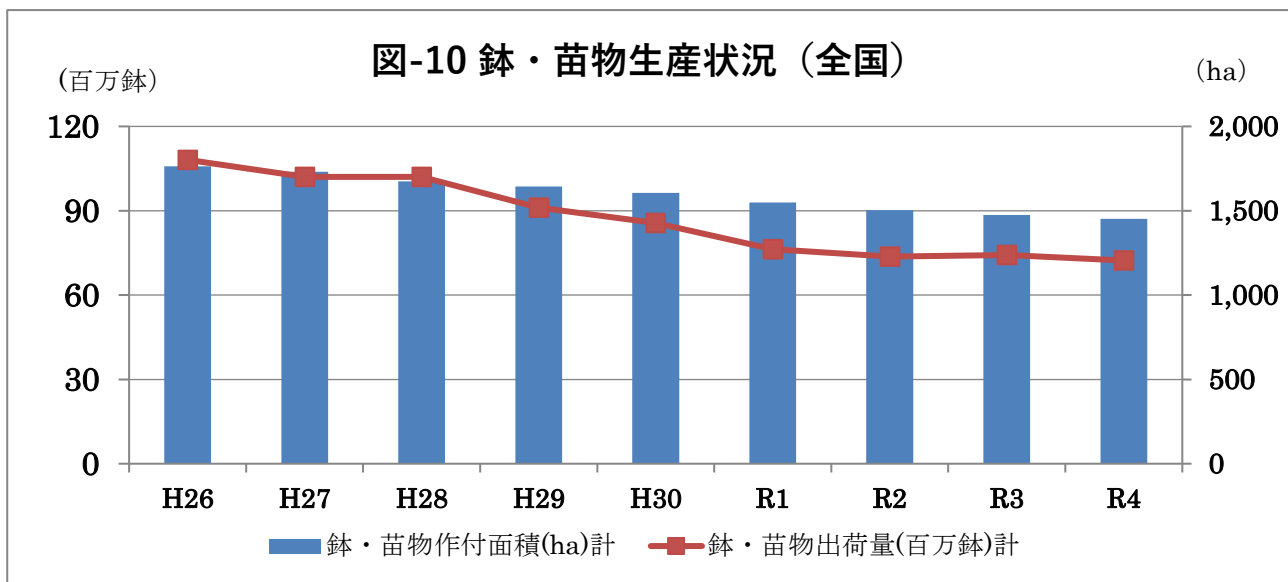
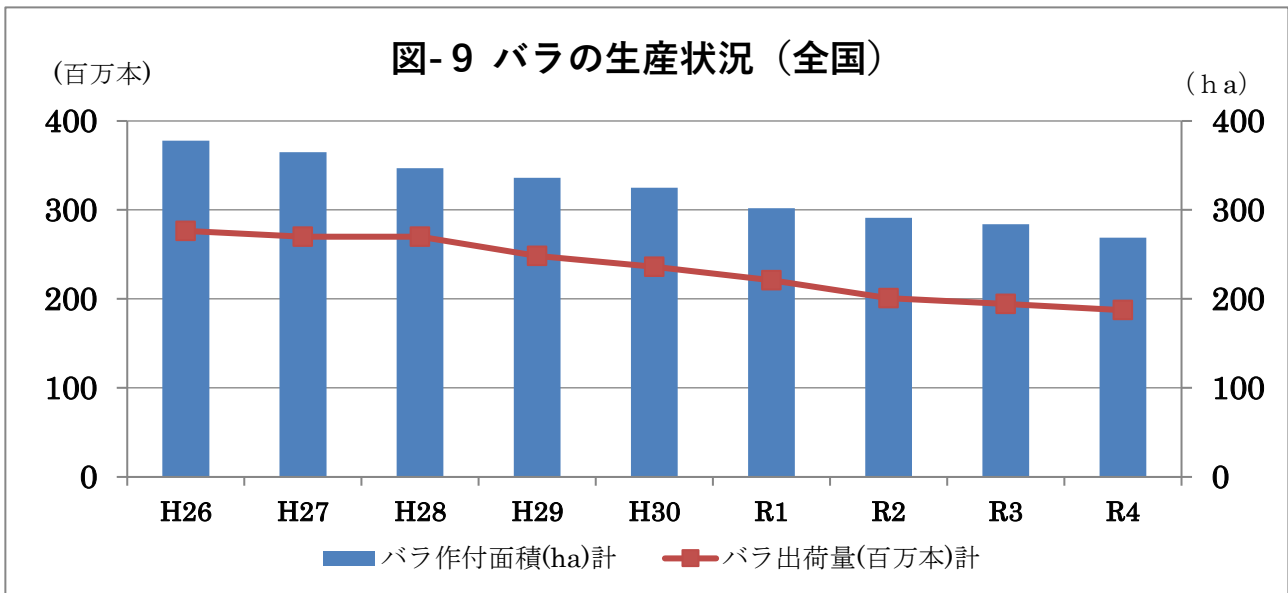


### 2 花きの輸入状況

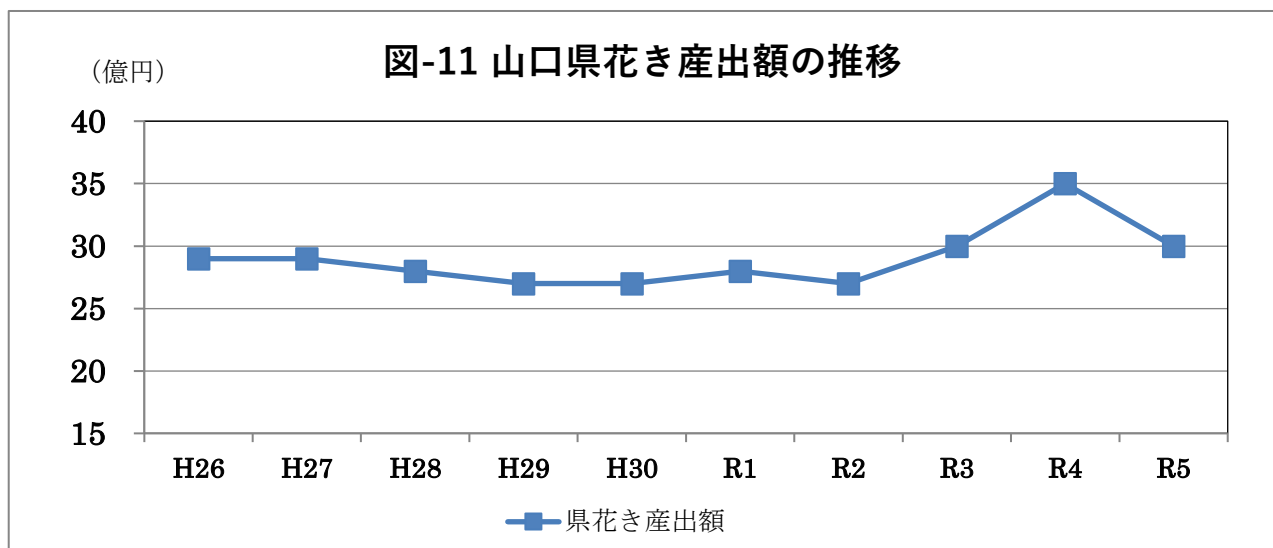


### 3 国産主要花きの生産状況

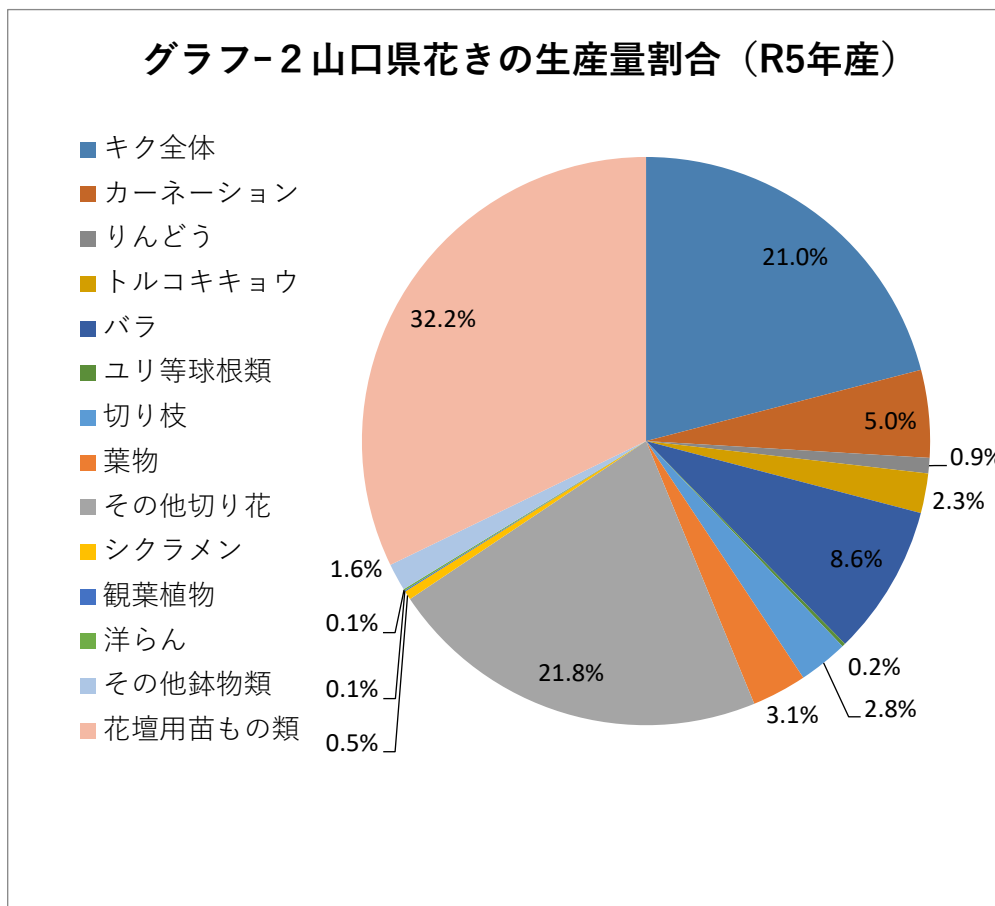
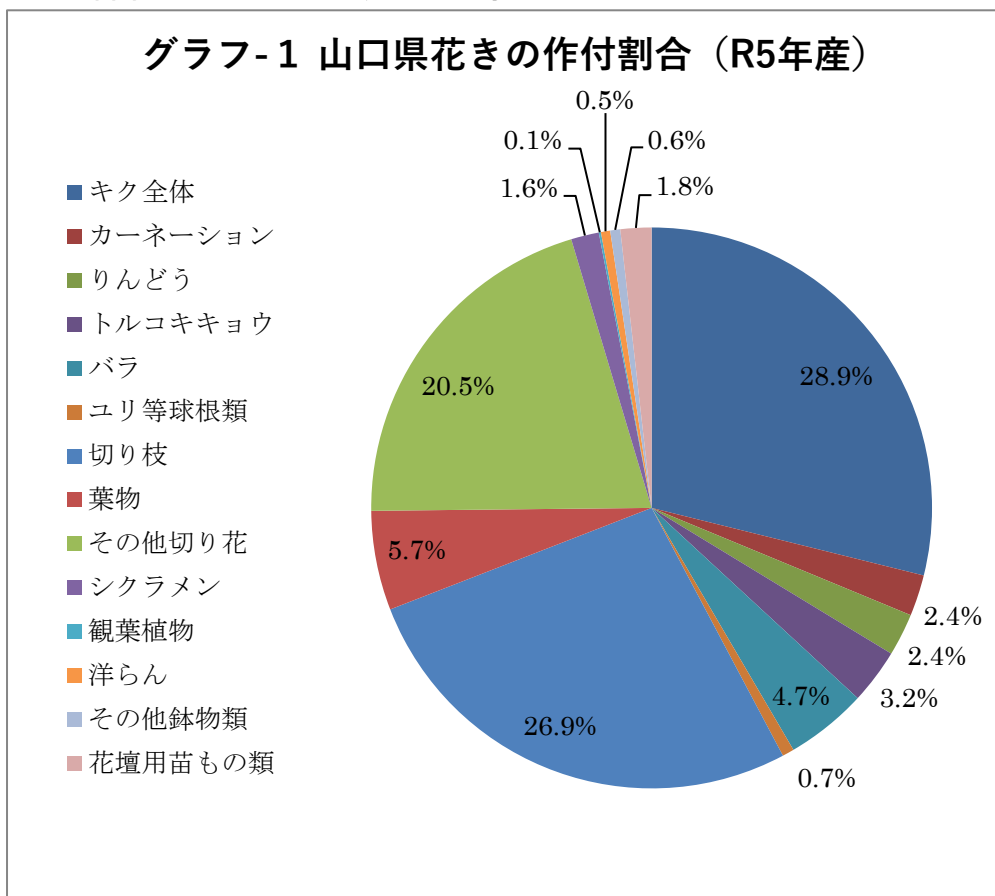




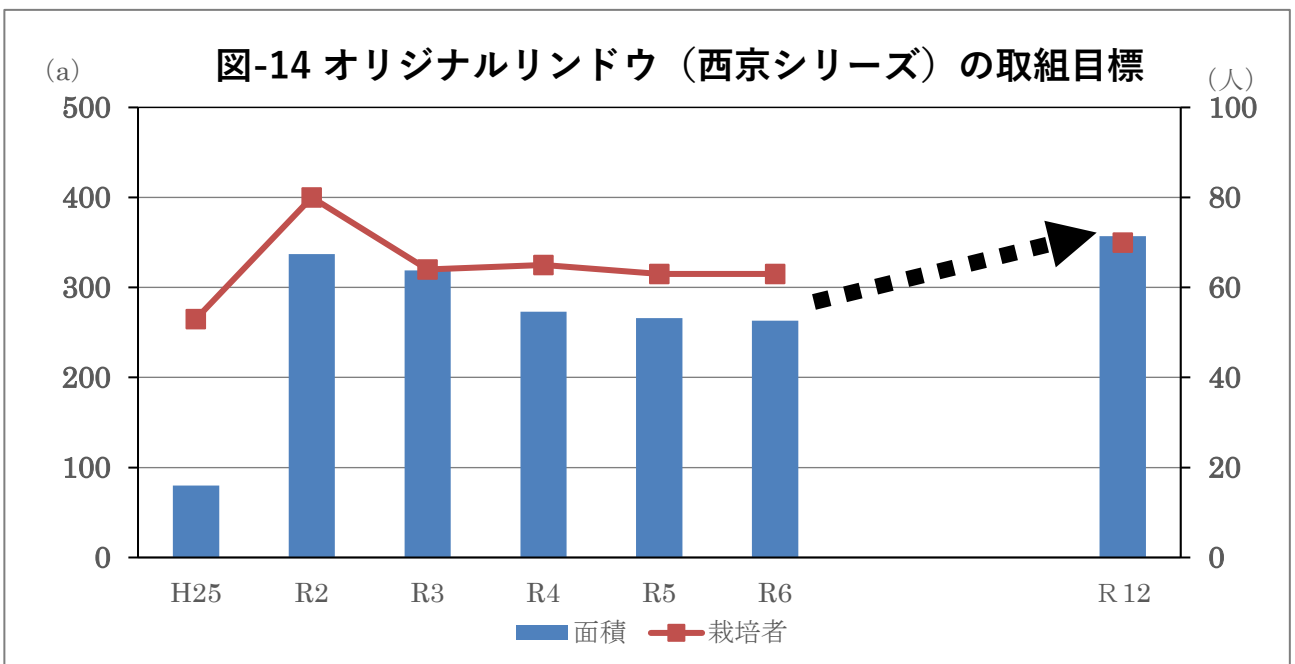
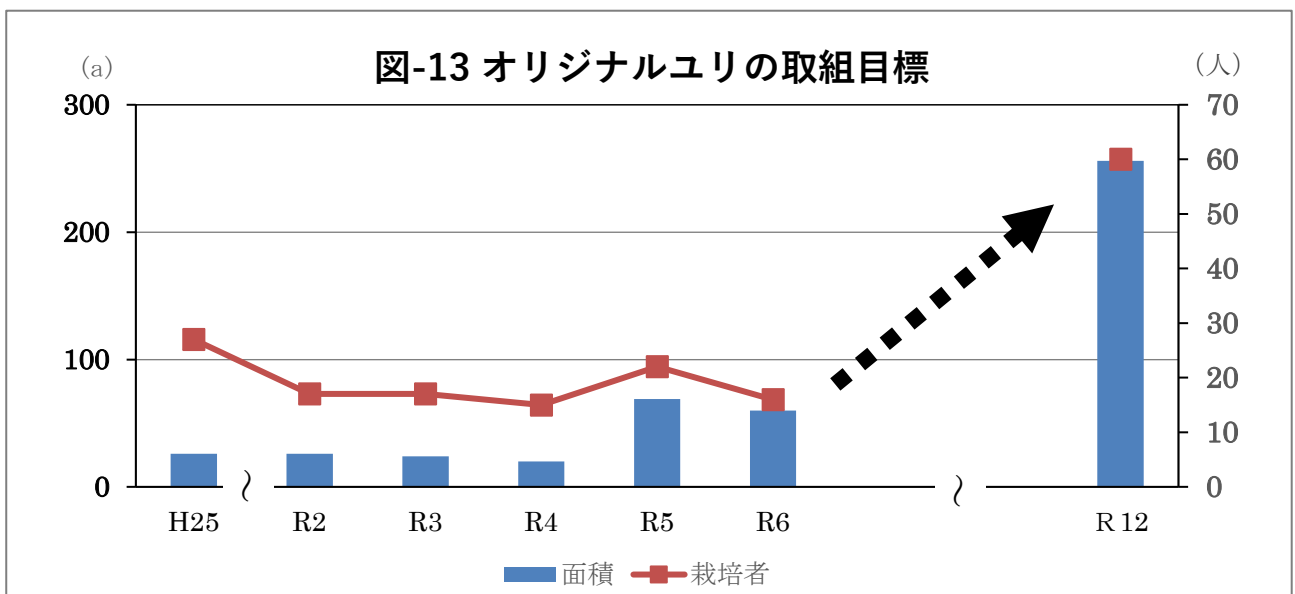
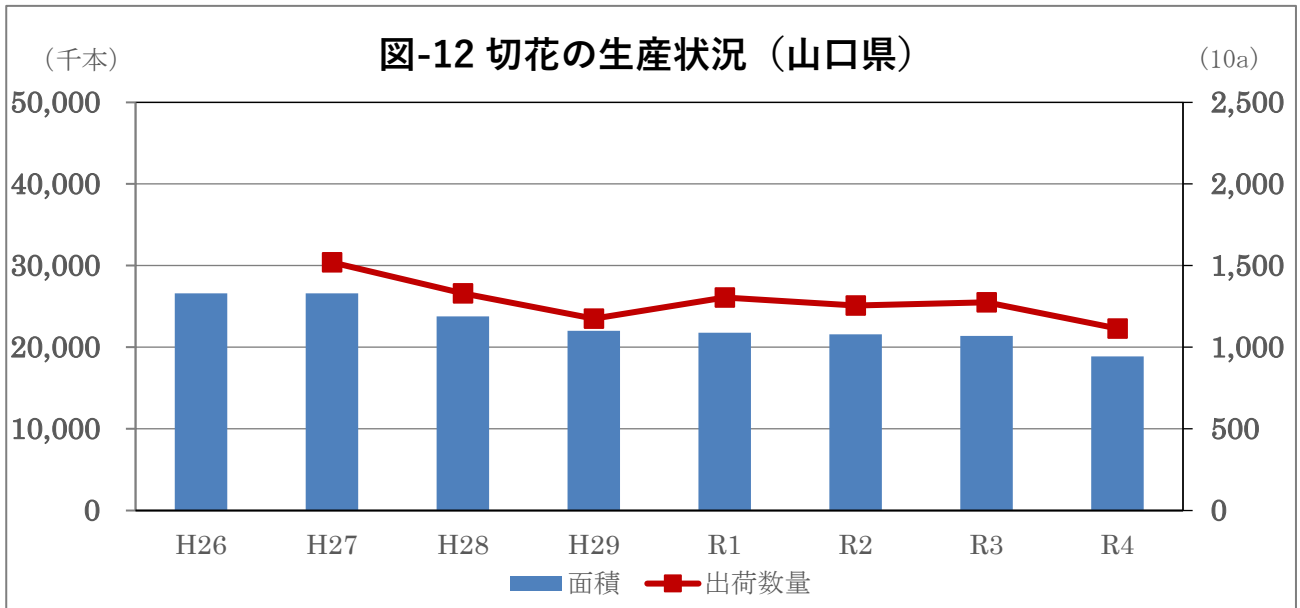
#### 4 県産主要花きの生産状況 (1) 山口県の花きの産出額



(2) 県産花き品目別作付及び生産量の割合



(3) 山口県花きの生産状況



- ① 施設ギク
- ・ 主要産地：柳井市、宇部市、下関市、萩市
  - ・ 近年は燃油高騰等の影響により、年明け～4月出荷(2度切り出荷)が減少傾向にある。
- ② 露地ギク
- ・ 主要産地：山口市仁保・阿東(輪・小ギク)、下関市菊川(小ギク)  
下関市吉見地区(輪・小ギク)
  - ・ 近年、高齢化により各産地とも栽培面積は減少傾向にある。
- ③ バラ
- ・ 主要産地：柳井市、下関市、長門市
  - ・ 栽培面積の約8割が養液栽培・アーチング栽培である。生産者は、ほとんどヒートポンプを導入しているが、燃油や資材費の高騰により、冬期の出荷量は減少傾向にある。
- ④ カーネーション
- ・ 主要産地：柳井市、平生町、防府市、下関市彦島・六連島地区
  - ・ 柳井市・平生町：主要農家は、ガラス温室、ベンチ栽培、養液土耕を行っている。
  - ・ 下関市彦島・六連島地区：カーネーションと草花の組み合わせが一般的である。
- ⑤ リンドウ
- ・ 主要産地：岩国市、周南市、山口市、下関市
  - ・ 極早生品種である山口県育成オリジナル品種「西京シリーズ」を中心に栽培している

⑥ その他切り花

- ・ 下関市六連島の草花・球根

下関市街の北西 8 km の離島で、下関市彦島・六連島地区:カーネーションと草花の組み合わせが一般的である。離島のため、組合所有の共同運搬船で下関・北九州に出荷

- ・ 下関市安岡・福江地区の草花・球根

トルコギキョウ、ストック、球根類、キンギョソウ、スターチス類、ガーベラ、ソリダゴなどの多様な切り花を生産

- ・ 防府市台道地区のレザーファン

平成 3 年から水田転作作物として産地化

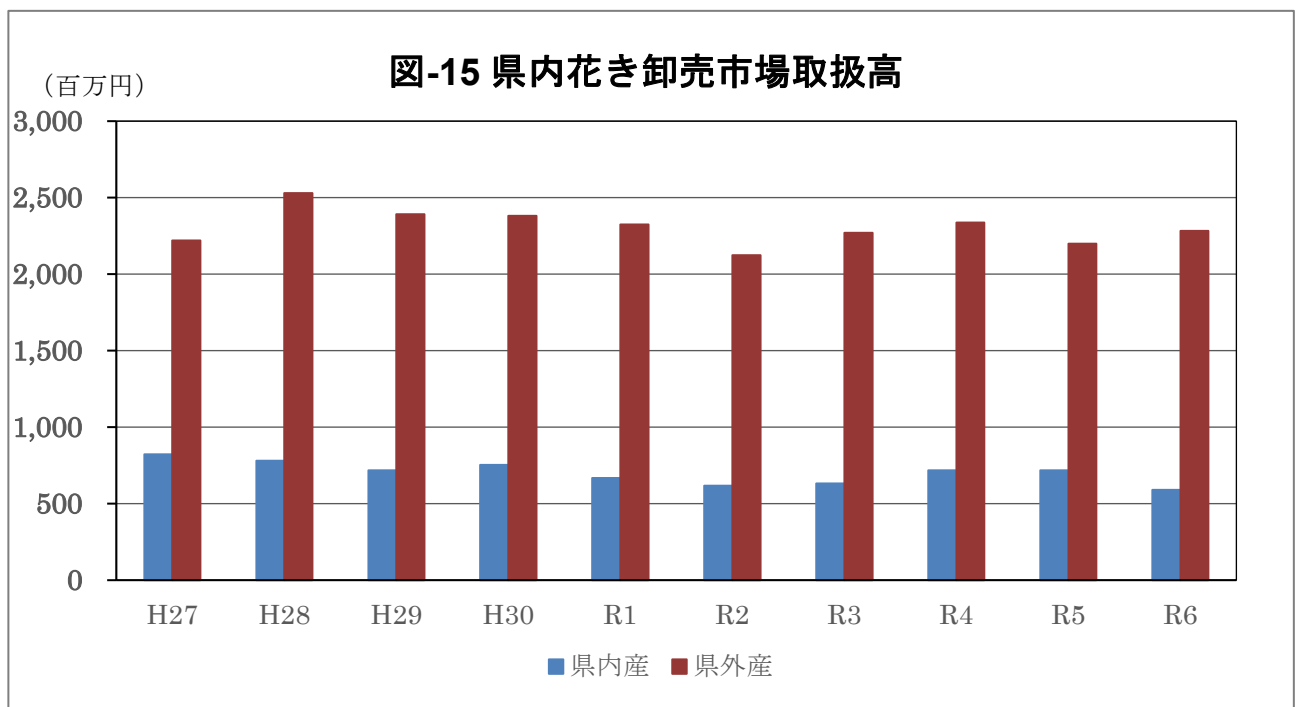
⑦ 鉢物類

- ・ シクラメンを基幹とした鉢物農家が県内に点在

シクラメン以外に、ハイドラングア、カーネーション、苗物類など多様な鉢物・苗物を生産

- ・ ミニバラ花壇苗等を生産する法人が、山陽小野田市で大規模生産

5 山口県の花き流通の現状



## 【出典一覧】

- 図-1 ; 農林水産省 生産農業所得統計
  - 図-2 ; 総務省 都市階級・地方・都道府県庁所在市別 世帯当たり支出金額
  - 図-3 ; 山口県農業振興課 オリジナル品目出荷実績調査
  - 図-4 ; 農林水産省 生産農業所得統計 年次別農業総産出額及び生産農業所得
  - 図-5 ; 財務省 貿易統計
  - 図-6 ; 農林水産省 平成26年～令和4年全国品目別作付統計
  - 図-7 ; 農林水産省 平成26年～令和4年全国品目別作付統計
  - 図-8 ; 農林水産省 平成26年～令和4年全国品目別作付統計
  - 図-9 ; 農林水産省 平成26年～令和4年全国品目別作付統計
  - 図-10 ; 農林水産省 平成26年～令和4年全国品目別作付統計
  - 図-11 ; 農林水産省 生産農業所得統計 都道府県別生産農業所得統計累年統計
  - 図-12 ; 農林水産省 平成26年～令和4年都道府県別作付面積及び出荷量
  - 図-13 ; 山口県農業振興課 平成25年～令和6年作付面積及び出荷量
  - 図-14 ; 山口県農業振興課 平成25年～令和6年作付面積及び出荷量
  - 図-15 ; 山口県農業振興課 平成27年～令和6年県内花き卸売市場取扱量
- 
- グラフ-1 ; 農林水産省 令和5年都道府県別作付面積及び出荷量
  - グラフ-2 ; 農林水産省 令和5年都道府県別作付面積及び出荷量